



Life Guard COATING™

ライフガード コーティング™






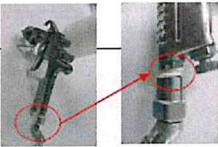

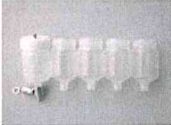








施工に関して

 COSMO PROJECT

Ver1.0

■ ライフガード施工機材推奨品

中・大規模タイプ(部屋の天井や壁・建物の外表面など)

施工基材	メーカー	品番・仕様	税別	
			定価	ネット
・スプレーガン	◎アネスト岩田	 美粧シリーズ W-101-134BPG 塗料ノズル口径 1.3mm 空気使用量 160/min 取付ネジ G1/4(PF1/4)	16,400	11,200 ~ 15,200
・スプレーガン(カブラ)	日東工器	 ローターリープラグRL-20PFF	940	820
・シールテープ		 スプレーガンとローターリープラグをつなぐ際に、スプレーガンの接続部分にシールテープを巻、そこにローターリープラグを接続。 		100
・ポリ製フリーアングルスタンディングカップ	恵宏製作所	 CJFA200 標準カップセット 		4,080
・エアコンプレッサー どのタイプでも上記のスプレーガンと適合します。 外装や大がかりな施工を主にされる仕事の場合は、なるべくタンク容量11リットル以上をお選びください。	マキタ	 AC461XS タンク容量 : 8リットル 重さ : 14kg 騒音値 : 59dB~62dB 吐出空気量 : 140リットル(一般圧) 特長 : ショルダーベルトで持ち運びできる 軽量14kg 可動性に優れたスタンダードコンプレッサー 	178,000	
		 AC461X タンク容量 : 8リットル 重さ : 14kg 騒音値 : 59dB~62dB 吐出空気量 : 140リットル(一般圧) 特長 : 実稼働1,200時間保証タイプ(ランプで知らせる)	198,000	
		 AC461XL/AC461XLB/AG461XLR タンク容量 : 11リットル 重さ : 15kg 騒音値 : 59dB~62dB 吐出空気量 : 140リットル(一般圧) 特長 : 実稼働1,200時間保証タイプ(ランプで知らせる) タンク容量が11リットル	210,000	
		 AC461XG タンク容量 : 16リットル 重さ : 17kg 騒音値 : 59dB~62dB 吐出空気量 : 140リットル(一般圧) 特長 : 実稼働1,200時間保証タイプ(ランプで知らせる) タンク容量が16リットル	248,000	
・エアホース	マツハ(スムーザー)	 NDZG-730C (30mドラム付) 加工の際、柔らかい素材の方が折れたり絡みづらいため扱いやすい。		10,800
		 NZG-710S(10mドラム無し)	6,250	3,750
		NZG-715S(15mドラム無し)	7,750	4,650
		NZG-720S(20mドラム無し)	9,250	5,550
		NZG-730S(30mドラム無し)	12,250	7,350
・消毒用エタノールIP イソフラボノール含有	健栄製薬	 ・スプレーガンのお手入れ ・塗布したくない部分へ飛散した場合の清掃用 ※加工直後は、このエタノールで原液を取ることができます。 完全に定着している場合は、不可。 ※必ず、IP(イソフラボノール)含有のエタノールをご使用ください。	955	

小規模タイプ(エアコン・浴室・キッチン収納部・下駄箱・カーテン・じゅうたん・衣類・寝具・ソファ・ペット用品など)

施工基材	メーカー	品番・仕様	税別	
			定価	ネット
・スプレーガン	◎アネスト岩田	 美粧シリーズ W-50-124BPG 塗料ノズル口径1.2mm 空気使用量65/min 取付ネジ G1/4(PF1/4)	15,900	11,500
・スプレーガン(カブラ)	日東工器	 ロータリープラグRL-20PFF	940	820
・シールテープ		 スプレーガンとロータリープラグをつなぐ際に、スプレーガンの接続部分にシールテープを巻、そこにロータリープラグを接続。 		100
・ホリ製フリーアングルスタンディングカップ	恵宏製作所	 CJFA200 標準カップセット 		4,080
・エアコンプレッサー	マキタ	 AC460SR タンク容量 :3リットル 重さ :11kg 騒音値 :62dB 吐出空気量:90リットル(一般圧) 特長 :ショルダーベルトで持ち運びできる 	150,000	100,000
・エアホース	マツハ(スムージー)	 NDZG-730C (30mドラム付) 加工の際、柔らかい素材の方が折れたり絡みづらいため扱いやすい。		10,800
		 NZG-710S(10mドラム無し)	6,250	3,750
		NZG-715S(15mドラム無し)	7,750	4,650
		NZG-720S(20mドラム無し)	9,250	5,550
		NZG-730S(30mドラム無し)	12,250	7,350
・消毒用エタノールIP イソプロパノール含有	健栄製薬	 ・スプレーガンのお手入れ用 ・塗布したくない部分へ飛散した場合の清掃用 ※加工直後は、このエタノールで原液を取ることができます。 完全に定着している場合は、不可。 ※必ず、IP(イソプロパノール)含有のエタノールをご使用ください。	955	

■ライフガード製品の取扱いについて

- ・他の製品を混ぜたり、液体等で薄めたり絶対しないで下さい。
- ・仕様以外の場所での施工は行わないで下さい。
- ・幼児の手が届かない安全な場所で保管して下さい。
- ・使用する前に製品本体を振って攪拌(かくはん)して下さい。
- ・高温高湿の場所を避け保管して下さい。
- ・開封したまま放置しないで下さい。
- ・作業中は換気を十分行い、保護マスク・手袋・メガネの着用をお願いいたします。

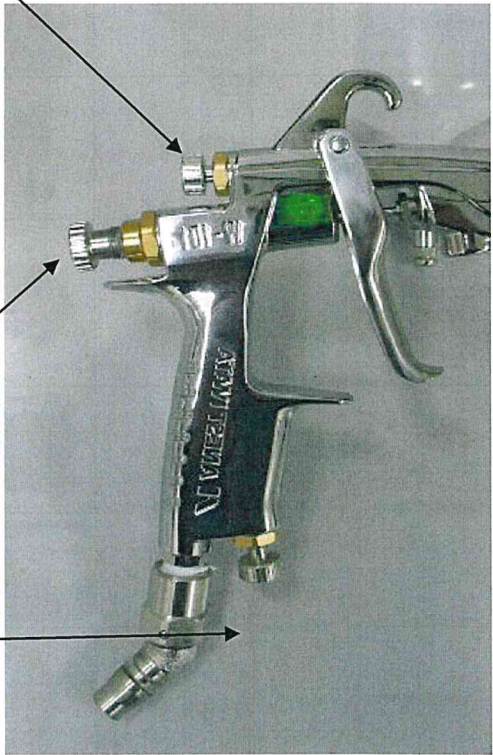
※煙センサーがある場所では、煙センサーが反応する場合がありますのでセンサーに養生をしてください。

- スプレー作業の基本となる、スプレーガン（本体）の調整方法を紹介します。
スプレーガンには、様々な調整ネジが付いていますが、個々の役割を下記に解説します。
※アネスト岩田 W-101-134BPG を使用

パターン調整ネジ
このネジを全閉にすると、スプレーが●パターンになります。
反対に緩めると（左へ回転すると）楕円形のスプレーパターンになります。
※普段は、全閉から 2.5 回転開けておきます。

液量調整ネジ
このネジを全閉にすると、樹脂カップに入った液体物は噴出しません。反対に開ける量に比例して液体の噴出量が増えてゆきます。
作業に応じて、以下の開度で開けて下さい。
超微粒子加工をする場合⇒45～90 度回転
通常加工⇒1 / 2 回転程度
※通常とは、1 m² 12 から 15cc（標準量）を塗布できる開度。

空気量調整ネジ
このネジを閉めるとエアが遮断されます。
反対に開ける量に比例してエア噴出量が増えてゆきます。
加工する対象に合わせて個々に調整します。
エア量が多すぎても、少なくても塗膜へ影響がでます。
加工物へ実際に噴霧してみて、周辺へスプレーが飛散しない程度で調整します。



■空気量は重要です。
スプレーガンの最下部に付いている「空気量調整ネジ」は、とても重要な調整ネジです。
このネジを緩めるとエア量が増えてゆきますが、同時にスプレーの粒子も小さくなります。
要するに液体噴霧における、「スプレー粒子サイズ」を変えることが出来るネジなのです。
超微粒子加工する場合は、液量調整ネジを 45～90 度と僅かに開けて、空気量調整ネジを「やや強めエアが出るように調整」してスプレーすることで、加工対象物へ微粒子をコーティングすることが出来ます。

■スプレーの距離について
加工する素材から、どのくらいスプレーガンを離すか？を解説します。
素材からの距離は 20cm～25cmです。（ガンの仕様によります）
※超微粒子スプレー加工の場合は、倍の 40cm 程度距離を離してスプレーします。

■スプレーパターンについて

下の2つの写真は、スプレーガンのノズル部分を拡大したものです。

2つの写真の違いはエアキャップの位置です。

エアキャップは、スプレーミストの形を変える役割をするものです。

パターン調節ネジを完全に閉めてから2.5回転回すとエアキャップの2ヶ所の穴からエアが出ます。

エアキャップは2つありますので、 $2 \times 2 =$ 合計4ヶ所からエアが出ます。

エアが出ると、スプレーのパターンが図の様に楕円になります。

また、完全に閉めてエアを止めると●パターンとなります。

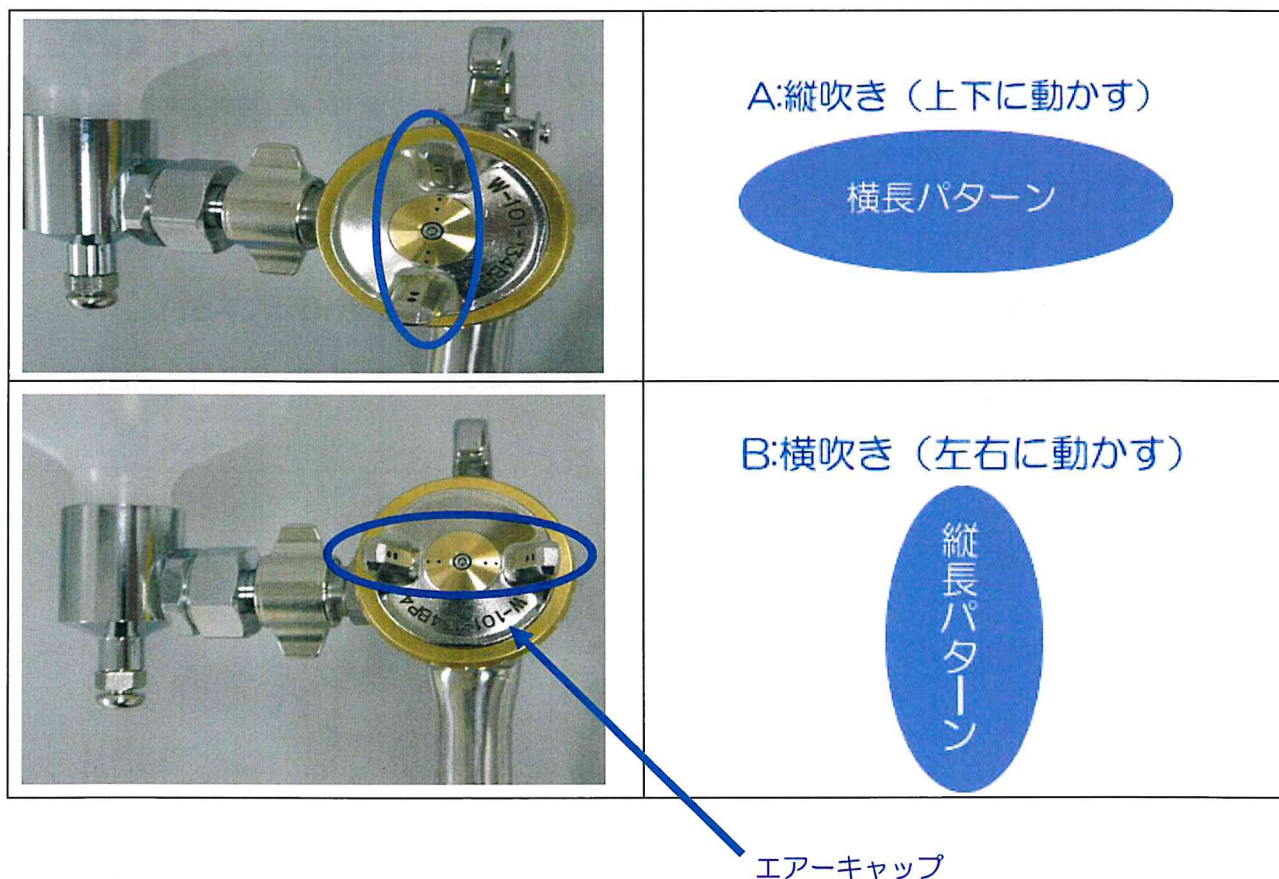
パターンを変えるとスプレーがワイドに広がり、広い面積で加工する場合において作業がしやすくなります。

A：横長パターンは、スプレーガンを上下に動かす塗り方で使用します。

※エアキャップを縦にすると、上下操作のスプレーと覚えて下さい。

B：縦長パターンは、スプレーガンを左右に動かす塗り方で使用します。

※エアキャップを横にすると、左右操作のスプレーと覚えて下さい。



■素材毎のスプレーガンの調整方法（アネスト岩田 W-101-134BPG）

時計方向に回して止まったところが閉じた状態です。下記は、その状態からの回転数を表します。

調整ネジ	一般		微粒子	超微粒子
	パターン	2.5回転		2.5回転
液量	内装	1/2回転	1/4回転	45度
	外装	1/2~3/4回転		
空気量	135度 ※1 (90度+45度)		180度	180度
距離	20cm		20cm~40cm	20cm~40cm
用途	クロスや外壁等		ガラス・タイル・石材等 光沢があり、白っぽい 素材へ施工する場合	左記素材に加え黒っぽい 素材や施工以前と同等の 光沢や色を保ちたい場合

※1 外壁など屋外での作業の場合、風による影響を考慮して空気量を多め（180度〜）にしてください。

- ・上記調整を参考に、施工する素材及び施工環境にあわせ適切な調整を行って下さい。
- ・パターン調整ネジを閉じて丸パターンにした場合、距離が長くなります。天井等、施行面が離れている場合に有効。

■スプレーガンの洗浄方法

使い終わったスプレーガンを放置すると、残留した液剤が固まりスプレーガンが使用できなくなる可能性があります。下記の容量で洗浄してください。

1. エアホースを外します。

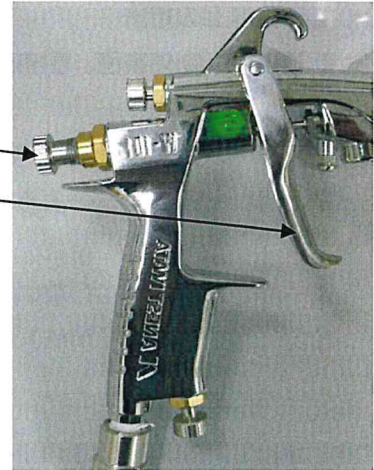
2. スプレーガンの蓋を開けて内部の液剤を容器へ戻して下さい。

3. 液量調整ネジを5回転くらい開けます。

4. スプレーガンのトリガーを引きます。

※スプレーガンのノズルから液剤が数cc出ます。

※容器へ戻しましょう。



5. ノズルから液剤が出なくなりましたら、水道水を樹脂カップへ入れます。

6. エアホースを取り付けて、水を大量に噴出します。

※出来るだけ大量スプレー。ガンのトリガーを握ったり、離したりもして下さい。

7. アルコール（下記写真のアルコールをご購入ください）を、樹脂カップへ入れて噴出して下さい。

※50cc程度を使用します。

※このアルコールは、液剤の成分を分解（溶解）する特長があります。

※液剤を除去したり、スプレーガンの洗浄で使用します。

※液剤と絶対に混ぜないで下さい。混入すると変質します。

※別途、専用の剥離剤があります。時間が経過した液剤は本材では除去できません。

※時間が経過した液剤を除去する場合は、別売の剥離剤をご使用下さい。

※イソプロパノールが含有されているもの。

（IPと書かれているもの）



■外壁へのコーティング

新築住宅、リフォームを終えて綺麗になった住宅の外壁へ光触媒を加工すると雨水のセルフクリーニング効果で汚れを洗浄し、永年にわたり外装面を汚さず美しい状態を保つことが出来ます。

■外装加工の方法

新設の建築物外装面、住宅の再塗装（リフォーム等）を実施した綺麗な外装材を対象に加工が出来ます。

スプレーガンで1㎡あたり15ccをコーティングして下さい。

※泥汚れ・鳥のフンのような粘土質の厚みがある汚染は、雨水だけでは浄化できません。

※一度に大量に加工しないで、スプレーガンを縦、横に動かし基盤の目のように加工します。

なお、施工方法は【別紙】の【スプレー方法】を参照してください。

■この様な部分（素材）で加工が出来ます。

- 1.一般的な塗装壁（アクリル、ウレタン塗装面、弾性リシン仕上面、その他）
- 2.シャッターなどのエクステリアの外装面。
- 3.看板、標識などの表示盤。

■加工が出来ない素材、基材について

1.フッ素樹脂などの撥水剤を加工した外装面。⇒密着しません。 ※撥水加工＝フッ素加工です。

2.窓、シャッターなどのコーキング剤が、「ノンブリードタイプ」で処理されていない場合。

※シリコン汚染で効果が失われる可能性があります。コーキング剤は、必ずノンブリードタイプを使用してください。

3.加工面に汚れ、カビ、藻等が既に発生している場合。

4.再塗装を実施して、100時間程度の乾燥時間を得てない塗装面。

※完全乾燥後に施工しないと、下地との完全密着が出来ません。

5.平面部分の加工。

※施工面の傾斜角が無い平面部を加工した場合、雨水で汚物を流しきれない場合があります。

■加工できない環境条件

1.高湿度の環境下では加工が出来ません。

※湿度75%以下でOK。（気温5℃～40℃・加工面が乾燥していること）

2.雨の中での加工は出来ません。

※同上。

3.作業する現場環境で「安全作業が確保できない場合」は加工が出来ません。

※必要に応じて、安全監視員を配置して下さい。

4.作業に必要な足場の設置が出来ない場所や物件。

■素材の適合を事前にチェックする

液剤を加工する外装材には、弊社が認知していない新素材があります。

殆んどの素材へは加工が適合するものですが、？マークが付く素材については、事前のテスト加工を行なって下さい。素材メーカーへサンプルをもらい、小さなテスト板を作り加工してみます。

※弊社でもテストを実施致します。無償ですでお問い合わせ下さい。

※気温は 10℃以下になっている場合、加工面が更に低い温度であることも考えられます。

気温が 10℃以下の場合、加工面の一部を加工して、3 時間程度様子を見て下さい。

3 時間以上経過後に加工面を手で触り、手が白くならなければ定着可能と思われれます。

(白くなる場合、定着しておらず、触媒は白化して定着していません)

加えて外装の場合は同時間経過後に加工面に水を流してみ、親水効果が見られれば定着していますので加工可能です。

■加工の注意事項

1.加工部に汚れがある場合は、クリーニング後に加工して下さい。

2.汚れの上、特に塵やホコリがある基材へ加工しないで下さい。

3.75%以上になる高湿度環境で加工しないで下さい。密着不良を起こします。

4.液剤を使用する前は、液剤の容器を振り攪拌して下さい。内容物が沈殿している場合があります。

5.スプレーガンの樹脂カップへ液剤を入れる時は、満杯にすると液モレが発生しますのでご注意ください。

■施工別注意事項

1.内装

・素材の汚れを出来るだけクリーニングしてから加工します。

・スプレーする量は 1 m²あたり 15cc (15g) を基準とします。

・自動車のダッシュボード、内張りのプラスチックに加工する場合は、半分以下のスプレー量です。

※スプレーパターン調整を●にして、液量調整を 45～90℃程度に僅かに開けて加工します。

※スプレーガンから噴出する液剤は、僅かの微粒子の状態加工して下さい。

※このスプレー加工は、キッチンパネルイ、浴槽パネルなどの美観性を必要とする素材でも同様です。

※万が一多量に加工して風合いが白っぽくなりましたら、速やかにアルコールで拭き取ります。

※それでも落ちない場合は、専用の剥離剤で落とすことが出来ます。

・臭いがきつい場所で加工する場合は、臭いの元(原因物)を出来るだけ排除して下さい。

※常時、強い臭いが発生する室内へ加工しても、液剤が持つ分解能力をオーバーしている場合、効果がでません。

2.外装

- ・加工できる素材は、新設の建物（新築）、外装を塗装したりリニューアル建物です。
 - ・すでに汚れが発生している建物へは加工できませんが、外装クリーニング工事後でしたら加工できます。
 - ・スプレーする量は1㎡あたり15cc（15g）を基準とします。
 - ・黒いアルミドア、黒いサッシ、濃い色の素材へ加工する時は、内装と同様に微粒子で加工します。
- ※微粒子スプレーを僅かにスプレーする程度。
- ・建物の外観を良く見て、基盤の目のイメージをもちながら、加工忘れ部分がでないようにしましょう。

※塗膜は透明ですので、どこまで施工したか？見た目でわからなくなります。

※どこまで加工したか？分からなくなったら「その面全体を大き目に再施工」して下さい。

作業を行う場合は、ヘルメット着用、必要に応じて安全帯着用、通行者の遮断、部外者の遮断等、安全に最大の注意をして下さい。特に周囲の人には注意して作業します。

- ・自動車のボディー・ガラス等へ加工することはお勧めしておりません。

【別紙】

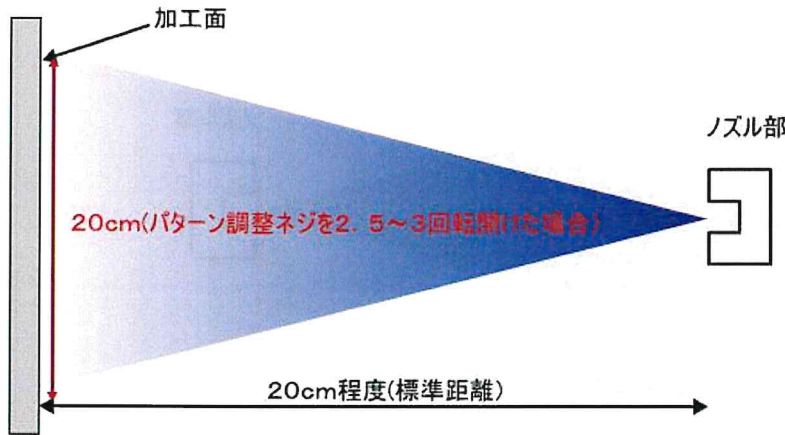
【 スプレー方法1 】

■基本のスプレー方法は、ノズル部を加工面より20cm程度離して、縦方向・横方向それぞれを半分ずつ重ねて塗布して下さい。

※1. 加工時は、温度5℃～40℃、湿度75%以下の環境で行ってください。この範囲外で行った場合、液材が加工面に定着いたしません。気温が10℃以下の場合、テスト塗布をして確認して下さい。

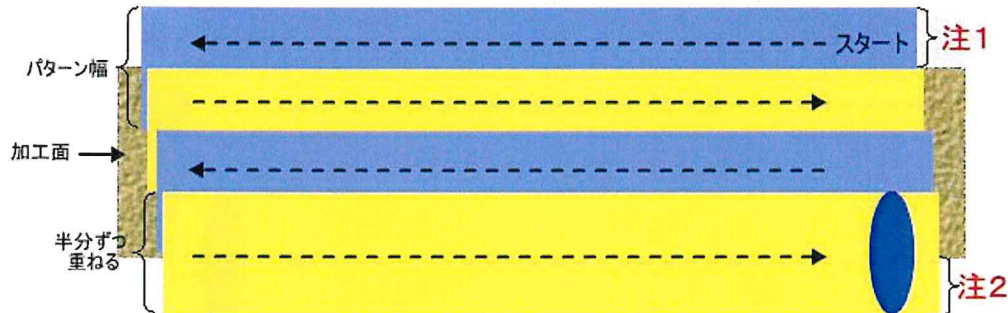
2. 加工面が湿っている場合も加工できません。

1. ノズル部と加工面の距離



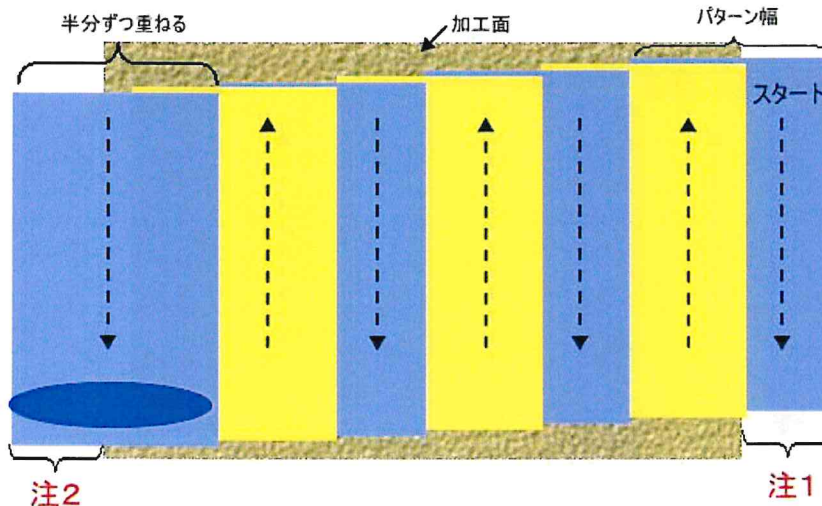
2. 横方向での加工イメージ

図のようにパターン幅に対して半分ずつ重ね塗りして下さい。パターン幅は、10cm下げる



3. 縦方向での加工イメージ

図のようにパターン幅に対して半分ずつ重ね塗りして下さい。パターン幅は、10cmずらす



注1 スタート時は加工面よりパターン幅半分ずらして加工を開始してください。これにより、最初の加工面も2重に塗布されます。(加工面以外は必要に応じ養生をしてから作業を行ってください)

注2 終了時も開始時同様、加工面よりパターン幅半分ずらして加工を終了してください。

【別紙】

【 スプレー方法2 】

■スプレー方法1の縦横の両方向の施工ではなく、丸パターン又は縦か横の1方向のみで施工する場合

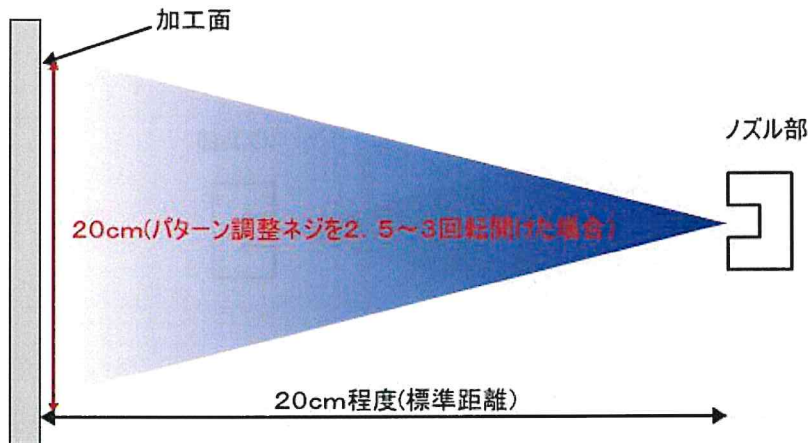
■スプレー方法1との違いは、パターンをずらす幅が違う。

(メリット: エアーキャップを切り替えなくて済みエアーキャップの故障も低減できる)

※1. 加工時は、温度5℃～40℃、湿度75%以下の環境で行ってください。この範囲外で行った場合、液材が加工面に定着いたしません。気温が10℃以下の場合、テスト塗布をして確認して下さい。

※2. 加工面が湿っている場合も加工できません。

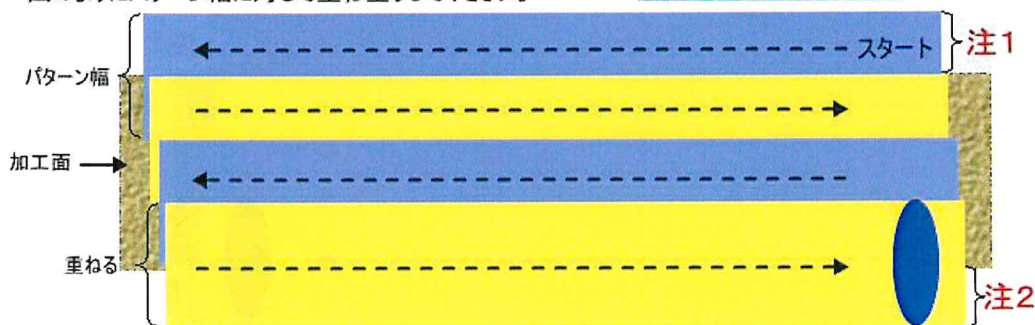
1. ノズル部と加工面の距離



2. 横方向での加工イメージ

図のようにパターン幅に対して重ね塗りしてください。

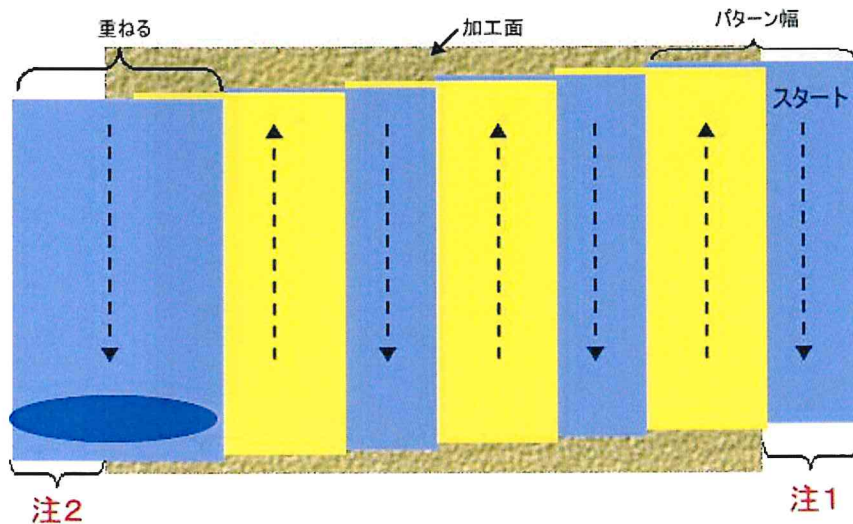
パターン幅は、5cm下げる



3. 縦方向での加工イメージ

図のようにパターン幅に対して重ね塗りしてください。

パターン幅は、5cmずらす



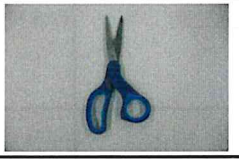









注1 スタート時は加工面よりパターンをずらして加工を開始してください。
(加工面以外は必要に応じ養生をしてから作業を行ってください)

注2 終了時も開始時同様、加工面よりパターン幅をずらして加工を終了してください。

■補足資料

必要に応じて揃えてください。

用品名		用途	
マスキングテープ		養生	24mm幅タイプ (必要に応じた幅をご用意ください)
マスキナー		養生	1100mmタイプ 550mmタイプ (2タイプそろえると便利です)
はさみ		養生	マスキナーのカット用
カッター		養生	マスキナーのカット用
ブルーシート		養生	養生や機材などを置く場所に
ドライバー		作業	器具などの取り外し
タオル		作業	汚れの拭き取りなど
ウエス		作業	
スリッパ		作業	スリッパや靴など 作業時履き替えよう
上履き用靴		作業	

手袋		作業	運搬作業や加工時
脚立		作業	天井部などの高い場所への養生・加工時
マスク		加工時	作業時はマスクを着用ください
保護メガネ		加工時	作業時は保護メガネを着用ください
計量カップ		加工時	使用する液量を把握する
筆・ハケ		加工時	浴室の隅などの加工に
消毒用エタノールIP イソプロパノール含有 健栄製薬		加工終了後	・スプレーガンのお手入れ
収納ケース		その他	作業用品等の収納用
台車		その他	作業用品の運搬用
ビニール袋		その他	作業時にたごみ入れ用
清掃道具		その他	作業前・作業後の清掃時



ライフガード
コーティング™

『ライフガードコーティング』あんしん補償申込書

株式会社 コスモプロジェクト 御中

申請年月日(西暦) 年 月 日

※会社名

印

ライフガードコーティング

認定取得施工店 登録 No.

※担当責任者氏名

No.

※住所

〒

※Tel

※Fax

※ゴム印使用㊦

会社印のないものは申請の受付ができませんのでご注意ください。

《 申請対象工事物件 》

施工物件名(現場名)

様邸

所在地

〒

ライフガードコーティングあんしん補償制度（瑕疵補償制度）

弊社は御社に対し、下記内容で補償するものと致します。

- ◆ 補償対象商品 ライフガードコーティング施工部位
- ◆ 補償期間 10年間（保証書発行日より）
- ◆ 補償額 再工事代金 最大●万円（1回のみ/物件）
*ライフガードコーティング施工部位の交換費用は別途補償（実損額：最大●万円まで）
- ◆ 補償範囲 対象製品の瑕疵により建物に補修を必要とするような損害の発生が客観的に認められる場合（当社製品の瑕疵により当社が法律上の賠償責任を負う場合）に当初の状態に戻すための修理費用または再工事費用を補償します。
- ◆ 適用条件
 1. 当社サーモウルの会会員であり、ライフガードコーティング認定取得施工技術士による施工物件
 2. 当補償申込書を建物の引渡し日から2週間以内※までに提出していること（申請期限を過ぎた物件については補償対象外となります）
※引き渡し日以降（2週間以内）の申請は引き渡し日を補償期間開始日とします。

補償費用請求の手続き

補償費用請求の申し立ては、弊社所定の補償費用請求書にご記入の上、弊社宛にご送付ください。御社の施工図面と申請書を照らし合わせ審査し、現地での確認をさせていただきます。

《 ライフガードコーティングの施工に関する詳細 》

施工日 _____ 年 月 日 () ~ _____ 年 月 日 ()
引き渡し日 _____ 年 月 日 ()

施工箇所 _____ 外壁（屋外） ・ 台所の壁 ・ 浴室の壁 ・ その他居室壁面

施工面積 _____ m²

現場施工者氏名・ライフガードコーティング認定取得施工士認定No.・ライフガードコーティング施工実績

氏名 _____	No. _____	棟 _____
氏名 _____	No. _____	棟 _____
氏名 _____	No. _____	棟 _____

施工に使用したライフガードコーティングのボトル No.

No. _____	No. _____	No. _____
No. _____	No. _____	No. _____
No. _____	No. _____	No. _____
No. _____	No. _____	No. _____

施工現場写真（*いずれも全景とアップを各1枚以上添付）

- ① 加工前の各壁面の写真を添付
- ② カビや汚れ等を除去し拭き上げた後の各壁面写真を添付
- ③ ライフガードコーティング塗布中の写真を添付
- ④ 施工完了後各壁面の写真を添付

※以下に記載の【施工条件の確認】【施工方法の確認】【液剤の保管方法確認】【施工後の注意事項】について内容を確認し、チェックボックスに✓をしてください。

【施工条件の確認】

- (1) 新築もしくは外装を塗装した建物、または外装クリーニング後の汚れがない状態で施工した。
- (2) 外装を塗装した後に施工する場合は、100時間程度乾燥させてから施工した。
乾燥時間 月 日 時 ~ 月 日 時まで (時間)
- (3) 施工部分が完全に乾燥した状態で施工した。
※施工部分が濡れた状態で施工はできません。
- (4) 作業時の気温は10℃以上、湿度80%以下であった。
※気温が低い状態や湿度が高い状態で施工はできません。
作業時の気温 ℃ ~ ℃ 作業時の湿度 % ~ %
- (5) 適した素材への施工をした。
※フッ素系の撥水加工した面・水などをはじく素材・腐食やシミになりやすい素材などへは施工できません。
※ゴムパッキンやコーキングが使用されている場合、材質によってコーティングの定着力が安定せず効果が発揮されない場合があります。(コーキング剤はノンブリードタイプをご使用ください。)
※上記素材以外殆どの素材に適合するものですが、認知していない素材もあります。疑問がつく素材は事前に適合チェックをしてください。施工後、3時間程度日光または蛍光灯(紫外線)にあてた後、施工面に水を流し施工面全体に親水効果が見られれば施工可能です。

【施工方法の確認】

- (1) 液剤を使用する前に、液剤の容器をよく振ってから使用した。
※内容物が多少沈殿している可能性があります。
- (2) 塗布量は約12~15cc/m²とした。(液剤が流れ落ちない、素材の表面が均一に湿る量)
- (3) スプレーガンの噴射口と施工面は、約20cmの距離を保ちながら作業した。
- (4) 縦方向と横方向に施工し、ムラが出ないように塗布した。
- (5) 施工の際は、風の影響を受けないよう対策をした。
- (6) 直接または飛散により、施工面以外に液剤がかからないよう養生をしてから作業を行った。
- (7) ライフガードコーティングに、他の液剤を混ぜたり薄めたりしていない。
- (8) スプレーガンは前回使用後に、下記手順で手入れを行ったものを使用した。
カップを水で洗う→水を入れてスプレーを噴射→指定のアルコールを入れて再度スプレーを噴射
- (9) 施工面に、施工後3時間程度触れていない。(実際に塗膜が安定するには3日程度要します。)
- (10) 素材ごとの下記注意事項を守って施工した。
※黒色・濃い色・光沢のある素材へ施工する場合、超微粒子や微粒子加工で状況を見ながら施工してください。
※表面の凹凸が大きな素材へは、通常の1.3~1.5倍程度の塗布量を、液剤が流れ落ちない程度に状況を見ながら施工してください。
※コンクリートやブロック等の浸透性が高い素材へは、通常の3倍以上の塗布量が必要となる場合があります。浸透する状況や施工面の状況を見ながら施工する必要があります。

【液剤の保管方法確認】

- (1) 開封後は容器の蓋をしっかり締め、冷所に保管した。
※長期間使用しない場合、冷蔵保管してください。(推奨)
- (2) 液剤を凍結させていない。
※液剤を凍結させた場合、解凍しても使用できません。

【施工後の注意事項】

- 以下に記載の(1)～(3)の内容について確認し、施工後に適切な管理を実施します。
※適切に管理されていないことが判明した場合は、補償対象となりませんのでご注意ください。
- (1) 外壁など屋外において泥や鳥のフンなどが付着した場合は、タオルやスポンジを湿らせ軽く拭き取るか、水で洗い流してください。
- (2) 酸性の洗剤や固いものを使用して洗わないでください。(コーティングが剥がれます。) 洗剤をご使用になる場合は、中性またはアルカリ性洗剤をご使用ください。
- (3) 本コーティング加工は、触媒機能(※1)を有する成分により浄化力(※2)が長期間継続しますが、次の原因により、浄化力が働かない、または失われる場合があります。これらの状況が生じる場合、清掃や補修などが必要となります。
 - ① 塗布する基材の経年変化
例：外壁や塗装材の劣化によりコーティングが徐々に剥がれる場合があります。
 - ② 浄化力を上回る付着物の堆積
例：ばい煙・排ガスなどにより、煙が常に発生し続ける場所において、浄化が間にあわずそれらが堆積することで効果が失われる場合があります。
 - ③ 厚みのある汚れや無機物(※3)の付着
例：泥や鳥のフンなど厚みのある汚れが付着した場合、雨水だけでは浄化されず効果が失われる場合があります。また、それら厚みのある汚れや大気中には無機物が含まれており、それらが付着することで効果が失われる場合があります。
 - ④ 擦れによる剥がれ
例：硬いブラシなどで擦ることにより、コーティングが剥がれる場合があります。
 - ⑤ 親水効果の働かない環境
例：外壁など屋外において汚れを浄化するためには、分解効果に加え雨水で汚れを浮かせて洗い流す、親水効果(※4)が発揮される必要があります。雨が長期間降らない・少ない・かかりにくい・流れない(角度がなく雨が流れない場所)等の環境において、汚れが付着してしまうことで効果が失われる場合があります。

※1 触 媒：特定の化学反応の速度を速め、自身は反応の前後で変化しない物質。

※2 浄 化 力：炭水化物・タンパク質・脂質などの有機物を分解除去する力を指す。
カビ・菌・ウイルスなども、これら有機物が含まれています。

※3 無 機 物：炭素化合物(燃やすと焦げたり二酸化炭素を発生)以外のもので、シャンプーやドロなど様々なものに含まれている。本コーティング加工で無機物を分解除去することはできません。

※4 親水効果：雨水などが汚れの下に入り込み、汚れを浮き上がらせて洗い流す機能。

壁面-1

①写真添付

施工前の壁面
(全景)

壁面-1

①写真添付

施工前の壁面
(アップ)

壁面-2

①写真添付

施工前の壁面
(全景)

壁面-2

①写真添付

施工前の壁面
(アップ)

壁面-3

①写真添付

施工前の壁面
(全景)

壁面-3

①写真添付

施工前の壁面
(アップ)

壁面-1

②写真添付

カビや汚れ等を除去し
拭き上げた後の壁面
(全景)

壁面-1

②写真添付

カビや汚れ等を除去し
拭き上げた後の壁面
(アップ)

壁面-2

②写真添付

カビや汚れ等を除去し
拭き上げた後の壁面
(全景)

壁面-2

②写真添付

カビや汚れ等を除去し
拭き上げた後の壁面
(アップ)

壁面-3

②写真添付

カビや汚れ等を除去し
拭き上げた後の壁面
(全景)

壁面-3

②写真添付

カビや汚れ等を除去し
拭き上げた後の壁面
(アップ)

壁面-1

③写真添付

ライフガードコーティング
塗布中
(全景)

壁面-1

③写真添付

ライフガードコーティング
塗布中
(アップ)

壁面-2

③写真添付

ライフガードコーティング
塗布中
(全景)

壁面-2

③写真添付

ライフガードコーティング
塗布中
(アップ)

壁面-3

③写真添付

ライフガードコーティング
塗布中
(全景)

壁面-3

③写真添付

ライフガードコーティング
塗布中
(アップ)

壁面-1

④写真添付

施工完了後の壁面
(全景)

壁面-1

④写真添付

施工完了後の壁面
(アップ)

壁面-2

④写真添付

施工完了後の壁面
(全景)

壁面-2

④写真添付

施工完了後の壁面
(アップ)

壁面-3

④写真添付

施工完了後の壁面
(全景)

壁面-3

④写真添付

施工完了後の壁面
(アップ)

予備

⑤写真添付

※施工面が3面以上ある場合に
使用してください。
(写真は、全景・アップ、
施工前・施工中・施工後の
ものがが必要です。)

予備

⑤写真添付

※施工面が3面以上ある場合に
使用してください。
(写真は、全景・アップ、
施工前・施工中・施工後の
ものがが必要です。)

予備

⑤写真添付

※施工面が3面以上ある場合に
使用してください。
(写真は、全景・アップ、
施工前・施工中・施工後の
ものがが必要です。)

予備

⑤写真添付

※施工面が3面以上ある場合に
使用してください。
(写真は、全景・アップ、
施工前・施工中・施工後の
ものがが必要です。)

予備

⑤写真添付

※施工面が3面以上ある場合に
使用してください。
(写真は、全景・アップ、
施工前・施工中・施工後の
ものがが必要です。)

予備

⑤写真添付

※施工面が3面以上ある場合に
使用してください。
(写真は、全景・アップ、
施工前・施工中・施工後の
ものがが必要です。)

予備

⑤写真添付

※施工面が3面以上ある場合に
使用してください。
(写真は、全景・アップ、
施工前・施工中・施工後の
ものがが必要です。)

予備

⑤写真添付

※施工面が3面以上ある場合に
使用してください。
(写真は、全景・アップ、
施工前・施工中・施工後の
ものがが必要です。)

予備

⑤写真添付

※施工面が3面以上ある場合に
使用してください。
(写真は、全景・アップ、
施工前・施工中・施工後の
ものがが必要です。)

予備

⑤写真添付

※施工面が3面以上ある場合に
使用してください。
(写真は、全景・アップ、
施工前・施工中・施工後の
ものがが必要です。)

予備

⑤写真添付

※施工面が3面以上ある場合に
使用してください。
(写真は、全景・アップ、
施工前・施工中・施工後の
ものがが必要です。)

予備

⑤写真添付

※施工面が3面以上ある場合に
使用してください。
(写真は、全景・アップ、
施工前・施工中・施工後の
ものがが必要です。)

弊社（株）コスモプロジェクト）使用欄

申込書 受領日		申込受付 可否	
年 月 日		可 ・ 否	
保証書 発行日		保証書 No.	
年 月 日		No.	
特 記 事 項			
お問い合わせ ・ 他			
日 付	内 容		



株式会社 コスモプロジェクト
代表取締役 坂本哲也



■申請送付先■

<福岡支社>
〒832-0089 福岡県柳川市田脇 339-3

<東京本社>
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-15-1

Tel 0944-74-6088 Fax 0944-85-2868

セントラルパークタワー3317
Tel 03-5909-3218 Fax 03-5909-3318

担保书 ✓